

令和6年12月19日

主な民間発注者団体 各位

一般社団法人 神奈川県建設業協会
会長 渡 邊 一 郎

建設現場土日一斉閉所を目指して（要望）

建設業においては、技能労働者の高齢化に伴い近い将来大量に離職することが想定されていることに加え、少子高齢化に伴う若年労働者の厳しい人材獲得競争の中で、週休2日（土日閉所）の定着は喫緊の課題となっています。

更に2024年4月からは労働基準法に基づく時間外労働の罰則付き上限規制が始まりました。時間外労働を抑制し、同規制を遵守するためには、労働生産性の向上と週休2日（土日閉所）の定着が必要不可欠です。

こうした状況に鑑み、建設4団体（日本建設業連合会、全国建設業協会、全国中小建設業協会、建設産業専門団体連合会）では、大手、中小を問わず業界を挙げて、公共、民間すべての建設現場（緊急工事、工程上やむを得ない工事を除く。）において土日閉所を目指すこととして「目指せ！建設現場 土日一斉閉所」運動を展開しており、公共工事では、国をはじめ地方自治体の工事でも、土日閉所の週休2日工事を指定して発注することを強力に進めております。

つきましては、民間工事につきましても運動へのご理解、ご協力を賜りますとともに、貴団体の会員企業への周知をお願いいたします。

また、次の事項については、適正な工期を確保し運動の実現を図る上でも、設計上の工法の検討など特段のご配慮をお願いいたします。

- ・ 一日に打設可能なコンクリート量に合わせた設計
- ・ 冬季のコンクリート打設量を考慮した設計
- ・ クレーンの一日の作業量に合わせた躯体工事工程の確保
- ・ 別途工事業者との工程調整の徹底
- ・ 左官工事等担い手不足業種への設計上の配慮
- ・ 施工者技術者がその理解に時間を要す複雑な設計の回避 等